

# 中一 国語科通信

第8号  
平成31年3月28日  
国語科1年担当  
奥池・狭間



「たけのこの里」のようなるつぼみして  
ソメイヨシノは春を待ちおり



## 百人一首大会 フォトギャラリー



3月22日に、今年度最後の百人一首大会を実施しました。今回は、ようやく50首覚えての大会。以前よりだいぶ早く取れるようになった(……ような気がしました！)

### 百人一首大会 結果 (枚数差の大きいチームから紹介)

- ①山賀大輝・菊田芽 (35枚差)
- ②那須遥斗・村社朋香 (32枚差)
- ③塚本 結・柳川修哉 (20枚差)
- ④森川夢大・山元未来 (18枚差)
- ⑤遠山菜々香・尾崎もも (15枚差)

#### 【特別対戦】

岩村清正 vs 松岡蒼香  
(13枚差で岩村君の勝利)

百字の獅子 テーマ「ピンク」

#### 「好きな色」

一組 藤田晃希

ピンクは、私の一番好きな色だ。あの明るく優雅である一方で何にも濁されなさそうな冷静さも兼ね備えているところが好きだ。だが、いくらピンクでも紙ファイルのような色気のないピンクはあまり好きではない。

◇ピンクという色についてこんな考察できるなんて素晴らしい。しかし、キミの思う「色気のあるピンク」って、どんな色だろう？ ちょっと興味があります。

#### 「万能のお菓子」

二組 甲斐稜汰郎

百字の獅子 テーマ「チョコ」

チョコは様々なお菓子に合う万能のお菓子だと思う。クッキーやケーキ、駄菓子などたくさんのお菓子があるが、そのほとんどにチョコ味があり、欠かせないものとなっている。チョコはいわばお菓子界の頂点なのである。

◇まず、目の付け所が素晴らしい。そして、最後の比喩表現もよい！ 鋭い視点からの明快な文章です。

#### 「自分から『壁』を乗り越えていく」

奥池大和

コラムマラソン 第八回

中学校の三分の一が終わり、一年を振り返って、どう過ごしましたか？小学校とは違う生活になり、やるべきことが格段に増えたとはいえ、いやです。笑

これからさらに成長すると、自分でできることが増えていきます。つまり自由や選択肢が増えます。しかし、その反面、責任も増えます。菓で餌を待つ雛から、自分で餌をとる成鳥へと変化してきているのです。成鳥は自分で餌が取れなければ、最悪の場合、死ぬこととなります。人間も同じです。大人になると自分で何か仕事をして、金銭や食料を得なければなりません。つまり、受け身でいるのではなく、自分から動くことが重要になるということです。成長と同時に発生する責任を果たさねばなりません。自分のやりたいことをやりたいようにやったり、何かしてもらおうのを待ったりする姿勢でいませんか？ 来年度皆さんは中学校で中心的な学年となります。みなさんが動かなければならない場面がさらに増えます。国語では自分の考えを生み出し、表現する場面が必ず増えます。そのような様々な『壁』がこれから皆さんの前にはたくさん現れるでしょう。でも、それらはすべて、今後の未来で「生きる力」をつけるためのものです。乗り越えるには練習がとっても重要になってきます。

やや堅苦しい文章になってしまいましたが、今年度一年間、皆さんと共に学んできて、率直に感じたことです。そして、これは私自身にも言い聞かせるべきものとして胸に刻みます。一年間、ありがとうございました。今後の未来を共に生きる者として、これからも一緒にがんばりましょう。

春です！ 気持ちを新たにする季節ですよ！